



セレクトショップ「長良川デパート」

**新装OPEN**  
売り場 3.5倍、  
岐阜の商品 1700点に

長良川流域で生まれた  
ステキな商品ばかりです。  
ぜひ立ち寄り下さい！

長良川デパート湊町店  
店長 河口 郁美 さん

老舗和菓子店「玉井屋本舗」

毎月第3土曜日  
限定販売イベント  
「つきいち」開催

イベントを通して川原町が  
活気あふれるよう毎月趣向  
をこらしていきます。  
お楽しみに！

玉井屋本舗  
和菓子職人 山本 隆広 さん

**川原町エリア**

新たなにぎわい拠点始動！

## 清流長良川の魅力発信 アフターコロナに向けた

### 「観覧船運航エリア」・高級鵜飼観覧船導入

岐阜市では、長良川の歴史や文化、景観を生かし、魅力的な水辺空間の形成に向けた  
そのなかで今、計画の対象地域である「ぎふ長良川の鵜飼」が行われる「観覧船運航エリア」、「川原町エリア」では、

## 観光プロモーション Start!

### 「川原町エリア」・新たなにぎわい拠点始動

取り組みの推進を目的に「ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画」が策定されました。  
1000年先も継承し続ける持続可能な地域を目指した、新たな取り組みがはじまりました。

域に点在する有形・無形の文化財を面として活用し、情報発信や人材育成・伝承、環境整備などの取り組みを効果的に進め、地域活性化を図ることを目的とした「日本遺産」の重要構成要素でもあります。

毎年5月11日から10月15日まで、鵜飼休みと河川の増水時を除く毎夜開催される「ぎふ長良川の鵜飼」には、県内外から多くのお客様にお越しいただき、燃え盛る篝火のもと伝統装束に身を包んだ鵜匠が、「ほっほっ」と声をかけながら鵜を自在に操り船を狩る様子を、鵜飼観覧船からお楽しみいただいております。大河ドラマ「国盗り物語」が放送された昭和48年には、観覧船147隻を保有し、33万7千人を超えるお客様にお越しいただきましたが、乗船客数の減少とともに観覧船保有数も減少し、平成14年以降、観覧船保有数45隻程度、11万人前後の乗船客数で推移してきておりました。

そして平成30年には、台風や集中豪雨などの自然災害により、過去最多となる42日の中止を余儀なくされ、初めて10万人を下回りました。令和2・3年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、乗船者数はさらに大きく減少しました。加えて、観覧船船員をはじめとする担い手の後継者不足など、鵜飼観覧船事業を取り巻く環境は厳しさを増しており、人的・財政面での改善に加え、認知度・魅力度の向上など「持続可能な形態へのシフト」が求められています。

このようなか、鵜飼観覧船における顧客ニーズへの対応や顧客満足度のさらなる向上を目指し、鵜飼観覧船事業に携わるさまざまな皆様の意見を伺い、「ぎふ長良川の鵜飼」をより魅力的なコンテンツとして広く発信していくため、高級鵜飼観覧船を運航することいたしました。

**高級観覧船で特別な鵜飼観覧を**

今回、高級観覧船として改造した3隻は貸切専用となっております。闇夜に溶け込むような外観と、間接照明や月の明かりを取り込む天窓など華やかな空間が施され、ソファ席や利用状況に合わせて変更できるテーブル等、内装にもこだわっております。また、最高のロケーションで鵜飼観覧ができるほか、鵜匠による個別の説明を聞くことができます。高級観覧船ならではの特別な体験をしていただけます。鵜飼観覧だけでなく、日中の利用も可能となっておりますので、ご家族・ご友人などの記念日やお祝いの席などさまざまな場面でご利用ください。

今後、多様な観覧方法の検討など持続可能な鵜飼観覧船事業の構築に努め、皆様のお力添えもいただながら、長良川の歴史、文化、景観を1000年先にも継承し続けるよう取り組んでまいります。

**「ぎふ長良川の鵜飼」の現状と高級観覧船導入の背景**

「ぎふ長良川の鵜飼」は、1300年以上の歴史を有し、岐阜の夏の風物詩として受け継がれてきました。伝承、風習などを踏まえたストーリーのもと、地域に

鵜飼観覧船事務所  
所長 山田 哲司 さん

**高級鵜飼観覧船3隻登場**

藍山  
あいやま

白月  
しらつき

花篲  
はなかり

**新POINT**

- ◎座敷形式から「椅子席」に。
- ◎これまで靴を脱いで乗船 →靴のまま乗船可能に！

乗船定員10名「白月(しらつき)」 乗船定員15名「藍山(あいやま)」・「花篲(はなかり)」  
岐阜市を代表する日本画家加藤東一画伯が描かれた「総がらみ」で表現された印象的な色彩を各々のテーマカラーとして内装に用いています。